

令和 7 年度

事業報告書

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

学校法人 田中芸術学園

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

初代理事長 田中孝一郎、第2代理事長 田中雅子は、「堅実な学風
先進の技術」を建学の精神として掲げました。

美容技術は日進月歩で変化しており、また流行に影響される面がある一方、時代や空間にとらわれない、普遍の基礎技術、美学があります。

技術の鍛錬に加え、豊かな人間性を培うことで、美を作り出す潜在力を引き出し、付加価値の高いアーティストの育成に努めます。

(2) 教育の理念

堅実な学風・先進の技術を建学の精神として掲げ、「美を創り出す人にとって大切なことは何か」を自ら問うことを教育理念としています。

時代とともに変化する美容業界にあって、卒業後に充分対応できるよう美容師受験資格のほかにも多様な検定試験や資格試験などを設け、自身の付加価値を高めるなど、美容業界で活躍できる人材の育成をめざしています。

(3) 教育の基本方針

- ・ 普遍的な基礎技術の鍛錬
- ・ 豊かな人間性の育成
- ・ 新しい技術にチャレンジする向上心

(4) 沿革

・1925年(大正14年)

女流フォトグラファーであった田中雅子は、田中孝一郎の勧めにより、広く社会における女性の自立を求め、美容師に転身。東京・代々木駅前に「代々木美粧園」を開業。

その後、プロとしての花嫁着付け「雅流着付」を確立。以来、婚礼お仕度のエキスパートとして認められ、現在のブライダルチェーンの基礎を作る。

・1945年(昭和20年)

田中孝一郎・雅子が「東京パーマ講習所」を設立。

・1947年(昭和22年)

東京パーマ講習所をさらに発展させ「東京美容専門学院」（東京都知事認可）として代々木に設立。

初代院長に田中孝一郎就任。美容師教育に本格的に邁進。田中雅子は美容室経営と業界活動に専念。

その後、アメリカよりアール・テーツ氏を招き、ピンカーリングとヘアセッティングの本格的講習を行い、田中八起（後の第3代理事長）が、全国に随伴。基礎技術の普及に努める。

・1949年(昭和24年)

厚生大臣（現厚生労働大臣）指定の美容師養成施設となる。

・1958年(昭和33年)

代々木駅前より現在の高田馬場に移転。

・1967年(昭和42年)

プロフェッショナル対象のコースとして、研究科設置。この頃、シザーズカットの隆盛を見越して、教員数名をアメリカ・ササーンスクールに派遣。いち早く授業にシザーズカットを取り入れる。同時に美容師養成施設の上級コースとして、専科（6ヶ月コース）を置く。

田中八起はICD（世界著名美容家協会）の日本初の世界大会実現に尽力。国内外の活動を通じて美容業界の国際化に寄与。

第2代理事長に田中雅子（初代）就任。

・1971年(昭和46年)

第3代理事長に田中八起就任。

・1980年(昭和55年)

第4代理事長に田中みさ子（二代目田中雅子）就任。

・1984年(昭和59年)

東京美容専門学院を「学校法人田中芸術学 園東京美容専門学校」と改称。
美容師養成施設昼間部第1本科を美容専門課程に、夜間部第2本科を美容
高等課程とする。

専科を一般課程専科ヘアスタイル科と改称。同時に研究科に、メイク・
フェイシャル・ネイル科を設置。その後、6ヶ月コースに発展させる。

・1987年(昭和62年)

日本エステティシャン協会（現 一般社団法人 日本エステティック協会）
法人会員、認定校となる。

・1989年(平成元年)

研究科メイク・フェイシャル・ネイル科(6ヶ月コース)から、一般課程専科
メイクアップコース(1年制)に。

・1990年(平成2年)

一般課程専科メイクアップコースを専科エステティックコースと改称。
1年制のエステティック専門学科を置く。

・1998年(平成10年)

美容師法改正、新制度に変更。昼間課程2年制、通信課程3年制となる。

・2008年(平成20年)

日本エステティック協会創立35周年記念大会において、20年以上永年
登録法人会員(認定校)表彰を受ける

・2015年(平成27年)

トータルビューティー科を2年制とし、美容総合科トータルビューティー
コースに変更。

・2017年(平成29年)

創立70周年を迎える。

・2019年(令和元年)

校舎の改修、W i f i 環境の設備を実施。

・2022年(令和4年)

ヘアメイクコース(2023年4月開講予定)設置に伴う
校舎の大規模修繕および改修を行う。
現在に至る。

(5) 理事・評議員の状況 (令和8年5月1日現在)

理事	7名
監事	2名
評議員	9名

2. 設置する学校

東京美容専門学校

(1) 教員・職員の現況 (令和8年5月1日現在)

校長	1名
専任教員	
・美容総合科ヘアスタイリストコース	6名
・美容総合科トータルビューティーコース	5名
・美容総合科ヘアメイクコース	3名
・美容通信科	2名
職員	5名

(2) 学科と学生数 (令和8年5月1日現在)

学 科	入学定員	総定員	学生総数
美容総合科ヘアスタイリストコース	40	80	35
美容総合科トータルビューティーコース	40	80	65
美容総合科ヘアメイクコース	40	80	19
美容通信科	80	240	85

少子化傾向を受け、ここ数年定員割れの状況が続いているのは歪めない。
また美容業界に対する若者の期待も希薄になり、美容業界ともども厳しい状況であることも事実である。
しかし、新型コロナが落ち着いたことで、地方からの新入生も微増傾向にあるが、入学志願者数全体としては減少している状況である。
目指す職業の多様性に対応するため、新しい技術の取り入れや教育のため、外部講師による授業も多く取り入れるとともに、時代のニーズにかなう教育体系を策定している。

(3) 卒業生数 (令和8年3月31日)

学 科	卒業生数
美容総合科ヘアスタイリストコース	24
美容総合科トータルビューティーコース	25
美容総合科ヘアメイクコース	13
美容通信科	22

(4) 国家試験合格者数 (令和8年3月31日)

美容師国家試験

学 科	受験者数	合格者	合格率
美容総合科ヘアスタイリストコース	24	22	91%
美容総合科トータルビューティーコース	26	25	96%
美容総合科ヘアメイクコース	13	12	92%
美容通信科	22	20	90%

全員合格を目指し、国家試験対策を実施している。

不合格となった数名の学生は、実技・学科の両試験が不合格という訳ではなく、いずれか一方が、残念ながら不合格という結果となっている。

学校側としては、アフターフォローを行いつつ、半年後の再受験時に合格できるよう、指導・アナウンス等を個別で行っている。

(5) 各種検定合格者 (令和8年3月31日)

各種検定	合格者
日本ヘアケアマイスター検定	1 8
ヘアカラーマスター検定3級	1 2
メイクセラピー検定3級	
ウエラカラーリング技能検定	4 7
パーソナルカラー検定	6 5
日本メイクアップ技術検定試験3級	2 7
日本メイクアップ技術検定試験2級	2 7
日本メイクアップ知識検定試験	
JNECネイリスト技能検定試験 3級	2 6
サービス接客検定	0
みやび流着付け技能検定	3 0
JNAジェル技能検定試験 初級	2 6
JNASalon衛生管理士	
ABEまつ毛エクステンション認定試験	2 6
メイクアップ検定3級	2 9
日本化粧品検定3級	1 3
AJESTHE美肌エキスパート (美肌検定)	1 0
アイブロートリートメント検定	9
JNECネイリスト技能検定試験 2級	1 3
WBT認定ドレスコーディネーター	1 3

コースにもよるが、学生の将来性を考慮し、数種類の検定を受験している。
 ホットな技術を授業に組みこみ、検定に挑戦するよう指導している。
 2年次は国家試験もあるため、主に、1年次での受験が多いのが現状である。

(6) 就職状況 (令和8年3月31日)

学 科	卒業生数	美容業界に就職	その他
美容総合科ヘアスタイリストコース	2 4	2 3	1
美容総合科トータルビューティーコース	2 6	2 5	1
美容ヘアメイクコース	1 3	1 3	0
美容通信科	2 2	1 5	7

3. 財務概要

学校法人田中芸術学園 東京美容専門学校

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収入計	227,455,695	237,051,148	228,780,049
教育活動支出計	248,900,120	264,853,371	272,845,180
教育活動収支差額	△21,444,425	△27,802,223	△44,065,131
教育活動外収入計	681,698	1,305,049	634,356
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	681,698	1,305,049	634,356
経常収支差額	△20,762,727	△26,497,174	△43,430,775
特別収支差額	△379,522	△300,037	△6,659,629
当年度収支差額	△21,142,249	△26,797,211	△42,563,387